

「第42回 議会報告会・市民との意見交換会(令和5年5月6日開催)」での、市民からのご意見への行政の回答

【多文化共生について】	
福祉施設など専門性の求められる現場での多言語対応スタッフの育成と多言語対応は。	
1	<p>回答所管課 企画政策課</p> <p>市の施設では、テレビ電話通訳及び電話通訳システムを導入し、14カ国の言語に対応する通訳オペレーターを通じて、多言語で会話することが可能になっています。また、外国籍の方の人材育成として、今年度より、日本語教室及びキャリア教育講座を市で実施していく予定です。</p>

【駅名の変更について】	
100年に一度の知立駅周辺整備事業の様相が見えてきた。交通の要衝である知立駅のイメージアップを図るため、駅名を変えたらどうか。変更について、議会での議論は。	
2	<p>回答所管課 都市開発課</p> <p>知立駅の名称は、古くから当市の玄関口として、市民から広く愛着を持たれているものと考えています。 また、名古屋鉄道の全列車が停車し、複数の鉄道・バス路線の結節する西三河地域の主要ターミナル駅であり、これら公共交通機関の利用者のため、市名と一致の現在の駅名から変更することは考えていません。</p>

【LGBTについて】	
政府、マスコミにおいてLGBTについて話題になっている。知立市人権宣言において性自認を受け入れる方向にあるが、もっと慎重にすべきでは。性の自己決定を無条件に受け入れれば社会混乱が予想されないか。	
3	<p>回答所管課 協働推進課</p> <p>「第6次知立市総合計画」の基本理念のひとつとして、「互いの人権を尊重し、思いやりの心を育むまちづくり」を定めています。また、「人権教育・啓発に関する知立市行動計画」を策定し、人権に関する施策の推進に取り組んできました。しかし、差別や偏見は依然として存在し、さらに社会情勢の変化により、新たな人権問題が発生しています。そこで、市民一人ひとりの人権意識をより一層高めるための方策が必要であると考え、令和4年度に「知立市人権尊重のまち宣言」を制定しました。</p> <p>「知立市人権尊重のまち宣言」は、私たち一人ひとりが、人種、国籍、民族、信条、年齢、性別、性的指向、性自認、社会的身分、門地、(家柄)、障がい、疾病、考え方などの違い、その他の事由により差別されることなく、お互いを尊重し、人権にかかわる幅広い問題に対する理解を推進し、人権意識を高めるためのものとなります。</p> <p>誰一人取り残されないよう多様な性的指向、性自認及び性表現への理解を図り、誰もが自分らしく生きる社会を実現するとともに、性の多様性に対する理解を広げることが大切であると考えています。</p>

【公衆Wifiについて】	
豊田市や刈谷市では駅前に公衆Wi-Fiを設置しているが、知立市の設置予定は。	
4	<p>回答所管課 企画政策課</p> <p>現状では、知立駅周辺へ市として公衆Wi-Fiを設置していません。今後、他市や先進事例を参考に研究を行います。</p>